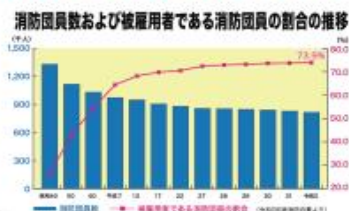




消防団協力事業所表示制度や 消防団の必要性・重要性を 動画で詳しく解説



消防団は地域における消防防災のリーダーであり
住民の安心・安全を守るという重要な役割をもった消防機関です。
地域住民を中心に組織された消防団は、地域の事情に通じ
即応性があるため、常備消防とはまた違う強みを持っています。



総務省消防庁が交付する表示証（ゴールドマーク）

【総務省消防庁消防団協力事業所（次のすべてを満たすこと）】
市町村消防団協力事業所の認定を受けていること
消防団員が従業員の数1割以上いること（最低5人以上）
消防団活動への配慮に関して内規等に定めていること 等



市町村等が交付する表示証（シルバーマーク）

【市町村消防団協力事業所（次のいずれかに該当すること）】
※市町村によって要件は異なるが、概ね次のとおり
従業員が消防団に相当数入団していること
従業員の消防団活動に積極的に配慮していること
災害時に資機材等を消防団に提供するなど協力していること
従業員による機能別分団等を設置していること 等

申請方法

ホームページより申請書をダウンロード
必要な項目を記入の上、各市町・消防本部（局）消防団担当課に提出して下さい。

お問い合わせ先

長崎県消防保安室
〒850-8570 長崎市尾上町3番1号
電話番号：095-895-2146

長崎県消防保安室

（2022年1月）



長崎県

このまちが
好きだから



ご存知ですか？ 地域貢献のスタンダード

消防団協力事業所 表示制度

消防団協力事業所 表示制度とは？

消防団協力事業所表示制度とは、事業所の消防団活動への協力が社会貢献として広く認められると同時に、事業所の協力を通じて、地域防災体制がより一層充実されることを目的とした制度です。



申請書の提出
【各市町・消防本部(局)
消防団担当課まで】



事業所の協力内容を確認
【審査】

よし、我が社でも消防団活動への
協力を通じて社会貢献しよう。



認定



表示証の交付

地域貢献の スタンダード



入札参加の加点

※県・一部市町の建設業



表彰制度

社会貢献企業として
信頼性の向上



坂本章二

消防団協力事業所認定企業

株式会社 坂本組 【新上五島町】

建設業を営んでいる坂本組は、港湾工事を主体として事業を展開している会社です。現在、人口が減少している中で、消防団員数も当然少なくなっています。そこで「地域に少しでも協力できること」があれば、消防団協力事業所に登録しました。従業員には地域の安全を守るための活動として、消防団活動を実施して頂ければと思っています。仕事中に急な出勤要請があった場合は、腰り合いながら、みんなで協力して消防団活動を行なっています。私たちは、普段、公共工事などを行う際、地域の方々にご迷惑をお掛けすることもあります。そういう地域の方々の温情の上で仕事をさせていただいているので、少しでも地域の方に恩返しをしたいと思ひ、何かできることがないかと考え、消防団活動への協力をしています。

県知事表彰を受けたことについては、私たちがやってきたことを少しでも認めていただいたということ、とても励みになっています。今後も団員の方たちは大変だと思いますが、地域のために協力をしていこうと思っています。



消防団活動は43年間やっています。仕事を始めるのと同時に始めました。仕事と消防団活動の両立は会社の理解がないとできませんが、いざという時はバツと行けるよう、会社が認めてくれるので助かります。やはり会社の理解が一番大きいと思います。それから地域の皆さんの応援が、消防団活動の励みになっています。今、消防団員が減少していますが、その辺りを理解して消防団に入ってもらえればと思っています。

坂本組従業員 吉田利行さん



北川 栄太

消防団協力事業所認定企業

崎永海運 株式会社 【長崎市】

崎永海運は海運業を行っている会社です。台船という鋼製の大きな四角い船（大きいもので長さが60メートル幅が24メートル）の上に重量構造物をのせて、それをタグボートで引っ張って運送するという業態がメインです。2021年で創業79年目を迎えています。元々、弊社のタグボートを運送する船員さんが数人消防団に所属しており、そういったご縁があって、消防団協力事業所に認定いただきました。

会社としては消防団に人財として活動されるということは、大変素晴らしい事、地域貢献だと会社として捉えております。ですから、従業員が消防団活動に出るときは、優先して休ませたりとか、その活動に専念してもらいたいような業務体系を取っております。そして地域の皆様にお世話になってますので、少しでも恩返ししたいという気持ちがあります。

今後も引き続き、入団される従業員の方の活動を支援していきます。さらに、消防団入団の機会があったり、興味を持っている従業員がいるようでしたら、入団を勧めたいと思っています。



この仕事に就いて21年ですが、消防団活動も21年になります。消防団活動と仕事の両立については会社の理解もあって、恵に因るということがないですね。火事の際は、火災の消火に当たるんですが、普段の活動でも、高齢者の一人暮らしなどを見回っています。その時、身近で消防団が活動してくれて「安心だ」とか「助かる」とか言われる事が一番嬉しいですね。これからは仕事と消防団活動、どちらも頑張っていきます。

崎永海運従業員 山下徳秋さん

会社に勤めている人を消防団に入りやすくし、消防団員として活動しやすい環境を整え地域の防災体制がより一層充実することを目指しています。

事業所 → 消防団

- 現在の消防団員の7割以上が被雇用者
- 円滑な消防団活動の実施には事業所の協力が不可欠
- 消防団活動に協力的な事業所を「消防団協力事業所」として認定
- 認定事業所には「表示証」を使用できるほかメリットがあります



松田 清

消防団協力事業所認定企業

平戸市森林組合 【平戸市】

平戸には、約1300人の組合員がいます。山の植林から間伐・手入れなどを行いながら、山を守っていくという仕事をしています。平成5年頃から、いよいよ事業にも着手しました。最初は数人でしかありませんが、平成11年からはホダ木も自分たちで作るようになりました。現在、事業全体で90%がいよいよになっています。

平戸は山火事が多いので、森林の管理をしている組合としては消防団活動への協力が当然だと思っています。何かあった時には、優先的に消防団活動をするようにと、日頃から従業員には伝えています。

また、消防団活動をする事で、組合の業務に支障が出るようなこともほとんどありません。

これからは若い従業員がどんどん地域に入っていく、消防団に加入できるようなシステムを作っていかなければいけないと思っています。

平戸の安心・安全のために、消防団への協力はこれからも続けてまいります。



12年ほど消防団活動と仕事を両立させています。火事などがあつた時は「行って来い」と指示が出ると、すぐに現場に行けるような状況です。消防団活動については、いろんな職業を持たれる方が多いので、消防団活動をする事で結びつきができてくるのいいと思います。今後も仕事と消防団活動を両立させて、頑張っていきたいと思っています。

平戸市森林組合従業員 横田清二さん



松田 英彦

消防団協力事業所認定企業

有限会社 松田運輸 【雲仙市】

松田運輸は、橋本で獲れた魚や島原半島で採れた農産物など、地域の皆さんの大事な作物を全国に配送しております。従業員は雲仙市がほとんどです。従業員には消防団員が多いですが、松田運輸に入社してから入団してもらったケースがほとんどです。自分も消防団活動をしているので、従業員にも地域の住民の安心安全のために消防活動を手伝ってほしいと消防団入団を勧めたいと思っています。

従業員も地域のためには消防団が必要ということで納得して入ってくれています。全国的にはまだまだ団員数が少ないです。私は多くの方に仕事をしながらでも地域住民の安心安全につながる、消防団活動をしてもらいたいと思っています。従業員には消防団員として十分に活躍できるよう、訓練にも率先して参加してもらっています。

それからサイレンが鳴った場合は、仕事の手を休めて現場の方に急行するようにお願いしています。松田運輸は、これからも消防団活動に協力していきます。



松田運輸に勤めると同時に消防団活動も始めました。メールで入って来る火災の連絡があれば、すぐ現場に出るよう会社からも連絡を受けています。消防団活動と仕事との両立という面では、支障はありません。出勤要請があったらすぐ行くように、普段から活動なんかもすぐ家の手前へ置いてあります。地域住民の方の「頑張ってる」とか「助かる」とか一言を聞く、消防団活動をしていて良かったなと思っています。

松田運輸従業員 松田 亮さん